

禁じられた遊び

N. イエペス

みんなあれほど弾きたがっていたのに、どうも発表会で「禁じられた遊び」が登場しないと思っていたら、セーハの部分がハードすぎて上手く弾けないからだって。そういえば、イエペス大先生の作ったまんまでやっている人がほとんどだから、曲のはじめはやさしくても、セーハの所にくると突然難しくなる。だから、その所を大セーハじゃないように編曲してしまえばいいよね。とこんな風にしてみました。これで高等科の部分がなくなったので中級の課題でいけます。で、弾いてもらってみたら、「弾きにくいところがなくなつた。」という評価をもらい、しかもギターを知らない人たちには「どこをいじったのかわからない。」という感想でした。それはそうでしょう、メロディーはいじってないんだから、顔はそのままということですもんね。これなら、中級でも楽に弾けるでしょう。無理してむずかしいのに挑戦するのもいいのですが、人前では結局弾けません。あがったりもするし、家で練習するようには環境が整わないし、間違いだらけでステージを降るのはおもしろくないでしょう。それでこの本を書いたわけですから、活用してください。偉い先生のむずかしい編曲で弾くのは家でひとりでやって、みんなの前ではこれというの、聴く人にも親切です。我慢大会ではないのですから、演奏はハッピーにやりましょう。にっこり笑ってやれたら最高。

The image shows two staves of guitar sheet music. The top staff is in common time (indicated by a 'C') and the bottom staff is in 3/4 time (indicated by a '3'). Both staves have a key signature of one sharp (F#). The notation consists of sixteenth-note patterns with '3' above them, indicating triplets. Tablature is provided below each staff, showing fingerings (e.g., 0, 3, 5, 7) and string numbers (T, A, B, G, D, E). The first staff starts with a dynamic of \overline{p} . The second staff starts with a dynamic of \overline{f} .